

## 第15回 日本在宅医学会大会 プログラム別 詳細情報

カテゴリー	交流会
タイトル	～ヘルパーの視点で考える在宅での看取り～
日 時	平成 25 年 3 月 30 日 15 : 10～17 : 10
会 場	多目的室
演 者	医療法人ゆうの森 訪問介護事業所コスモス・坂田文、医療法人ゆうの森 たんぽぽクリニック・亀井修先生、託老所あんき代表・中矢暁美様、医療法人ゆうの森 訪問介護事業所コスモス・北島由紀子、池田比奈子、河上あこ
企画趣旨	<p><b>【背景】</b>  超高齢化社会を迎える今、在宅における看取りの重要性が増している。人生のターミナル期をその人らしく過ごすことができるよう、訪問介護の分野でもその一端を担っている。</p> <p>医療職ではない介護の専門職として看取りの場面にかかわる中で、ヘルパー自身も様々な思いを抱えていることが多い。</p> <p><b>【目的・方法】</b>  人生のターミナル期を、その人らしく過ごせるかどうかは、看取りのケアに関わる人達のあり方次第とも考えられる。介護を担うヘルパーの抱えるやりがい、不安や問題点をアンケートの結果をもとに報告する。事例を発表し、それらを解決へのヒントを探る。</p> <p><b>【結果】</b>  看取りには様々なケースがあるが、本人や家族が死と向き合う中でヘルパー自身もその思いを受け止め、その方の思いに耳を傾けていかなければならない。その人らしい人生の終わりを迎えていただくためには、看取りのケアにおいて関わる人達が連携を取り、利用者や家族の思いに寄り添った方向性の統一、変化する状態と各専門職種の気づきによる情報の共有などが大切になる。</p> <p>ヘルパー個人においても、自身の不安や問題点は何か気づき、自らが学んでいく姿勢が必要となる。</p>